

生体認証国際標準化セミナー2024 参加者募集

平素より生体認証にご関心、ご協力いただき、ありがとうございます。新型コロナによるパンデミック、ウクライナへの軍事侵攻、多様化・悪質化した犯罪など、人々の安全・安心を脅かす社会問題が出てきています。

その解決に向け、生体認証の利活用が世界中で検討され、非接触、非対面の業務が進むとともに情報セキュリティやプライバシーなど社会受容性や相互運用の課題が指摘され、国際規格の重要性に注目が集まっています。

本セミナーでは、日本を代表して国際標準化を推進いただいているトップレベルの専門家の方々から、生体認証を取り巻く課題や標準化の動向をわかりやすくご紹介いただきます。本セミナーが皆様の事業に資すれば幸いです。

— 記 —

1. 開催概要

- (1)日時:2024年10月21日(月)、10月22日(火)15:00(受付開始 14:45) ~ 17:30
- (2)開催:(一社)日本自動認識システム協会(JAISA) Zoom 会議システム
- (3)募集:100名 最新情報は JAISA ホームページ等をご確認ください。
- (4)参加:無料(但し、参加には事前登録が必要)

2. プログラム(別紙:講演内容、講師紹介)

※SC:サブコミッティ、TC:テクニカルコミッティ、WG:ワーキンググループ

【第1部】 生体認証を取り巻く最新動向と標準化 … 10月21日(月) 15:00~17:30

講演1:生体認証の国際標準化総括 — 全体的な活動の動きと主要トピックの概要のご紹介	(SC37)坂本 静生氏	15:05~15:35
講演2:金融サービスの生体認証関連トピック — 生体認証関連の最近トピックを中心にご紹介	(TC68)西口 周作氏	15:40~16:10
講演3:IC カードの生体認証関連トピック — モバイル ID 分野における生体認証技術応用の検討状況のご紹介	(SC17)新崎 卓氏	16:15~16:45
講演4:情報セキュリティの生体認証関連トピック — 生体情報の保護、モバイル機器への適用を中心にご紹介	(SC27)山田 朝彦氏	16:50~17:20
質疑・アンケート		17:20~17:30

【第2部】 生体認証の課題と標準化 … 10月22日(火) 15:00~17:30

講演1:用語/試験方法と新しい精度評価方式の標準化状況 (WG1/WG5)山田 茂史氏 — パフォーマンステストと新しい性能評価の方法の標準化状況		15:05~15:40
講演2:テクニカルインターフェースの標準化 (WG2)菊地 健史氏 — 最近トピックを中心にテクニカルインターフェースの課題と標準化のご紹介		15:45~16:10
講演3:データフォーマットの標準化 (WG3)林谷 昌洋氏 — 交換用データ形式の標準化最新動向のご紹介		16:15~16:40
講演4:生体認証システムの安全性・社会との関わりの問題点 (WG4/WG6)坂本 静生氏 — バイオメトリクスを適用するための技術的側面と非技術的側面のご紹介		16:45~17:20
質疑・アンケート		17:20~17:30

†1 諸般の事情により、タイトル、講師が変更になる場合があります。あらかじめご承知おきください。

†2 時間の許す限りで、質疑応答をさせていただきたく存じます。

3. セミナー参加申込

JAISA 個人情報保護方針(https://www.jaisa.or.jp/privacy_policy.php)をご確認の上、下記 URL の申込フォームに必要事項を記入し、お申し込みください。

> <https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=oeka-lhqirb-30f957ec6e455f20992de28d54069e33>

(別紙)

生体認証国際標準化セミナー

講演内容・講師紹介

■第1部 国際標準化の動向 (2024年10月21日(月) 15:00~17:30)

講演1	
生体認証(SC37)の国際標準化総括 ISO/IEC JTC 1/SC 37 (バイオメトリクス)における国際標準化について、その組織構成や参加国、他の国際標準化組織との関係など、第1部の講演内容を包括的に理解するための情報を提示いただきます。	坂本 静生氏 …日本電気株式会社 2003年よりIC旅券の国際標準化活動を開始。SC17/WG4・WG11主査、SC37/WG3幹事、同WG3主査を経て2022年4月よりSC37委員長。平成29年度標準化貢献賞、工業標準化事業表彰(経済産業大臣表彰)を受賞。
講演2	
金融サービス(TC68)の生体認証関連トピック ISO/TC 68における生体認証に関連する規格開発の状況についてご説明いただきます(国際標準ISO 19092の概要)。その上で、金融サービス分野で進む生体認証の利活用事例についてご紹介いただきます。	西口 周作氏 …日本銀行決済機構局 2023年6月にISO/TC 68 国内委員会事務局長に就任。ISO/IEC JTC1 SC37 (Biometrics) 専門委員会にはリエゾンとして参画し、ISO/TC68における生体認証関連規格の利活用方法等を情報共有。
講演3	
ICカード(SC17)の生体認証関連トピック ISO/IEC JTC 1/SC 17 (カードおよび個人識別用セキュリティデバイス)にて策定中のISO/IEC 23220シリーズ(モバイルデバイスを通じたID情報管理のためのビルディングブロック)とISO/IEC 18013シリーズ(モバイル運転免許証)の概要と生体認証との関係を解説いただきます。	新崎 卓氏 … エキスパート 2002年より生体認証の国際標準化活動(SC37)に従事。2018年から2022年まで国内委員長を務める。2020年からSC 17 (カードおよび個人識別用セキュリティデバイス)委員に就任。eKYCやFIDO等の標準化活動にも関わる。令和5年度に産業標準化事業表彰(経済産業大臣表彰)を受賞。
講演4	
情報セキュリティ(SC27)の生体認証関連トピック バイオメトリックシステムのセキュリティ評価の規格ISO/IEC 19792の改訂、モバイルデバイス上のバイオメトリクスの機能を認証に適用する場合のセキュリティ要件を定める規格ISO/IEC 27553-2の開発が進んでいます。これらの概要を中心にご紹介いただきます。	山田 朝彦氏 …国立研究開発法人産業技術総合研究所 2005年からバイオメトリクスに関わるセキュリティの国際標準化活動に従事。SC 37/WG 2, 3, 4, 5, 6, SC27/WG 3, 5の活動に参加。ISO/IEC 19784-1, 19785-4, 19792, 19989-1, 2, 3, 24761, 27553-1, 2などの規格編集に参加。

■第2部 生体認証の課題と標準化 (2024年10月22日(火) 15:00~17:30)

講演1	
用語(WG1)/試験及び報告の標準化(WG5)の標準化 WG1では用語定義、WG5ではバイオメトリック技術の試験及び報告の国際規格を議論します。特に日本から提案予定の新しい精度評価方式やグローバルで議論されている精度評価内容について、わかりやすく解説いただきます。	山田 茂史氏 …富士通株式会社 2011年よりSC 37/WG 5 国内小委員会委員、2018年4月よりSC 37/WG 5 小委員会主査、SC 37/WG 1 小委員会主査、2024年4月よりSC 37 国内幹事等を務める。2017年電気科学技術奨励賞、2022年情報規格調査会 標準化貢献賞を受賞。
講演2	
テクニカルインターフェース(WG2)の標準化 WG2では、生体認証のテクニカルインターフェースの標準化を進めています。最近トピックを中心にテクニカルインターフェースと標準化状況を紹介します。	菊地 健史氏 …株式会社日立ソリューションズ 生体認証製品の開発業務に従事。当該製品においてBioAPIを活用していた知見を活かし、2013年IdMにおける共通本人認証基盤の開発研究委員会に参加、2015年よりSC37/WG2の国内主査として活動。
講演3	
データフォーマット(WG3)の標準化 WG3はシステム間で生体認証データを受け渡すデータ・フォーマットの標準化を行うWG、規格はパスポートなどに利用されています。本セミナーでは直近の国際会議における議論内容を説明、開発中の規格状況をご紹介します。	林谷 昌洋氏 …日本電気株式会社 2020年よりバイオメトリクス関係の研究開発に従事。一昨年よりSC37/WG3およびWG5 国内小委員会委員、昨年からSC37/WG3 国内主査として活動。現在ISO/IEC 20059 (モーフィング関係)の規格開発に参加。
講演4	
実装(WG4)と社会的側面(WG6)の標準化 WG4ではシステムをはじめ社会にバイオメトリクスを適用するための技術的側面について、WG6では非技術的側面を含めて国際標準化活動をそれぞれ実施しています。これらの活動状況を中心に報告いただきます。	坂本 静生氏 …日本電気株式会社 同上(第1部と同じ)。

※講演者、講演内容は諸般の事情により予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。